



## 5. 投与後の注意点

- この薬を投与したことにより、投与部位以外の部位に影響が出て、会話がしにくい、えんげしやうがい嚥下障害(食べ物や水が上手く飲み込めずむせる)、ごえんせいはいえん誤嚥性肺炎(発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい)があらわれることがあります。投与開始から16週までにこれらの症状をはじめとして体調に変化が生じた場合、直ちに医師の診察を受けてください。
- 他の医療施設でボツリヌス毒素製剤の投与を受けた場合は、治療の目的や投与日を必ず医師・薬剤師に申し出てください。
- 妊娠する可能性のある女性は、投与中及び最後の投与から16週後まで避妊を考慮してください。
- この薬を投与した後、脱力感、筋力が低下する、まぶたが開きにくくなるといった症状があらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際はご注意ください。
- 口の中を清潔にするようにしましょう。
- 唾液の量が減ることによって、嚥下障害、誤嚥性肺炎があらわれることがあります。特に、もともと、食べ物や水が飲み込みにくい患者さんでは、飲食物、痰や唾液、胃液などが誤って気管に入ることによって、誤嚥性肺炎になる場合がありますのでご注意ください。

### ゼオマイン®の副作用

以下のような症状があらわれた場合は、直ちに医師の診察を受けてください

#### ● 重大な副作用：

- 過敏症(アナフィラキシーを含むアレルギー反応)  
息苦しさ、皮膚の赤み、急な皮膚のはれ、じんましん、吐き気など
- 嚥下障害(食べ物や水が上手く飲み込めずむせる)、誤嚥性肺炎(発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい)
- 眼障害(まぶたが開じにくくなる)

以下のような症状があらわれた場合は、医師に連絡してください

#### ● 主な副作用(成人の慢性流涎患者を対象に行った国内臨床試験での副作用と発生頻度)：

- 口内乾燥 8.7%(8/92例)
- 食事や飲み物を上手に飲み込みにくく感じる 8.7%(8/92例)
- 口が渇く 3.3%(3/92例) など

#### ● 薬の作用が強くあらわれた場合に生じる主な症状：

- 全身の筋力低下
- まぶたが開きにくくなる
- 物が二つに見える
- 呼吸困難
- しゃべりにくい
- ことばがでない
- 食べ物や水が上手く飲み込めずむせる など

上記以外でも気になる症状があらわれたときは、医師・薬剤師に連絡してください